



事業のあらまし 2021



一般財団法人
東京都営交通協力会

● 経営理念

私たちは、都営交通事業の一翼を担う法人として、
事業活動を通して、その使命達成に協力し、
首都東京の交通事業の健全な発展と公共の福祉の増進に寄与します。

● 経営方針

- 1 お客様の安全・安心を何よりも大切にし、
安全意識の向上と安全管理・危機管理体制の強化に努めます。
- 2 お客様に喜んでいただけるよう、良質で快適なサービスを、
お客様の視点に立って、心をこめて提供します。
- 3 不断の創意工夫とチャレンジにより、事業改善を図るとともに
業務の効率化に努め、経営基盤を強化します。
- 4 環境への配慮、地域への貢献、コンプライアンスの徹底など、
常に社会的責任を自覚し、誠実に行動します。
- 5 すべての従業員が気持ちよく働き、能力を十分に発揮できる、
明るく風通しのよい職場づくりを進めます。

● 目次

沿革	1
事業と会計区分	2
公益目的支出計画の実施事業	3
受託事業	4
収益事業	9
経営状況	14
組織	15
協力会のあゆみ	16

【注】本冊子の記載内容は、特に記載のない限り、
2021(令和3)年4月1日現在のものです。

沿革

当会は、東京市電気局（東京都交通局の前身）の局長や初代東京都知事などを歴任した安井誠一郎氏が、第二次世界大戦下の昭和 18 年、電気局が市電・市バスの運行という本来の業務に専念できるよう付帯的な業務を請け負うことで首都交通事業に協力するため、私財を出捐して設立されました。

設立当初は、都電・都バスの乗車券の発売が中心でしたが、昭和 23 年にタバコの販売を、昭和 25 年に宝くじの販売を開始しました。また、昭和 28 年に東京都知事から国内旅行業法による登録を取得し、旅行斡旋業として観光事業もスタートしました。

昭和 35 年 12 月には都営浅草線の開業に伴い、駅売店、車両清掃等の地下鉄関係の業務が始まり、その後の三田線、新宿線の開業に伴う業務の拡大に加え、昭和 50 年代以降は交通局の業務の外注化に伴い、バス誘導、駅舎清掃、地下鉄定期券発売等の業務も順次受託しました。

また、地下鉄高架下などの土地の有効活用を図るとの交通局の方針に沿って、昭和 45 年 8 月から高架下施設の貸付事業も開始しました。さらに、平成 8 年 3 月には旧プラム株式会社の事業であった船堀駅及び新高島平駅のコンビニエンスストア

や、高島平インドアテニスコート等についても協力会の事業として運営を開始しました。

その後、平成 12 年 12 月の大江戸線の全線開通により、清掃等の業務量が大幅に増加しましたが、一方で観光事業の低迷により平成 15 年 3 月に旅行業を廃止しました。

平成 15 年 4 月からは都営地下鉄の駅業務の受託を開始し、平成 16 年 4 月に広告媒体管理業務を、平成 20 年 3 月に新交通システム日暮里・舎人ライナーの開業に伴い駅舎及び車両清掃業務等を受託しました。

また、交通局の方針により、平成 20 年度に当会から東京交通サービス株式会社へ庁舎設備管理業務、荒川線トラバサー業務、駅舎照明設備点検清掃業務が移管され、平成 21 年に同社から当会に食堂業務が移管されました。

そして、平成 20 年 12 月の公益法人制度改革関連三法の施行を受けて、公益目的支出計画の策定などの必要な準備を進め、平成 25 年 3 月に東京都知事の認可を得て、同年 4 月 1 日から「一般財団法人東京都営交通協力会」として新たなスタートを切りました。

また、平成 31 年 4 月には東京都の事業協力団体に指定されました。

団体概要

名 称	一般財団法人東京都営交通協力会
設 立 目 的	首都交通機関の混雑緩和と輸送の増強確保への寄与、乗客・観光客の利便向上、都営交通事業の使命達成への協力
設 立 年 月 日	1943（昭和 18）年 5 月 29 日
本 部	〒 136-0072 東京都江東区大島五丁目 10 番 10 号 電話：03-5609-2400
新宿事務所	〒 162-0065 東京都新宿区住吉町 7 番 13 号
役 員 数	理事 6 名、監事 2 名、評議員 9 名
職 員 数	1,732 名

大島本部



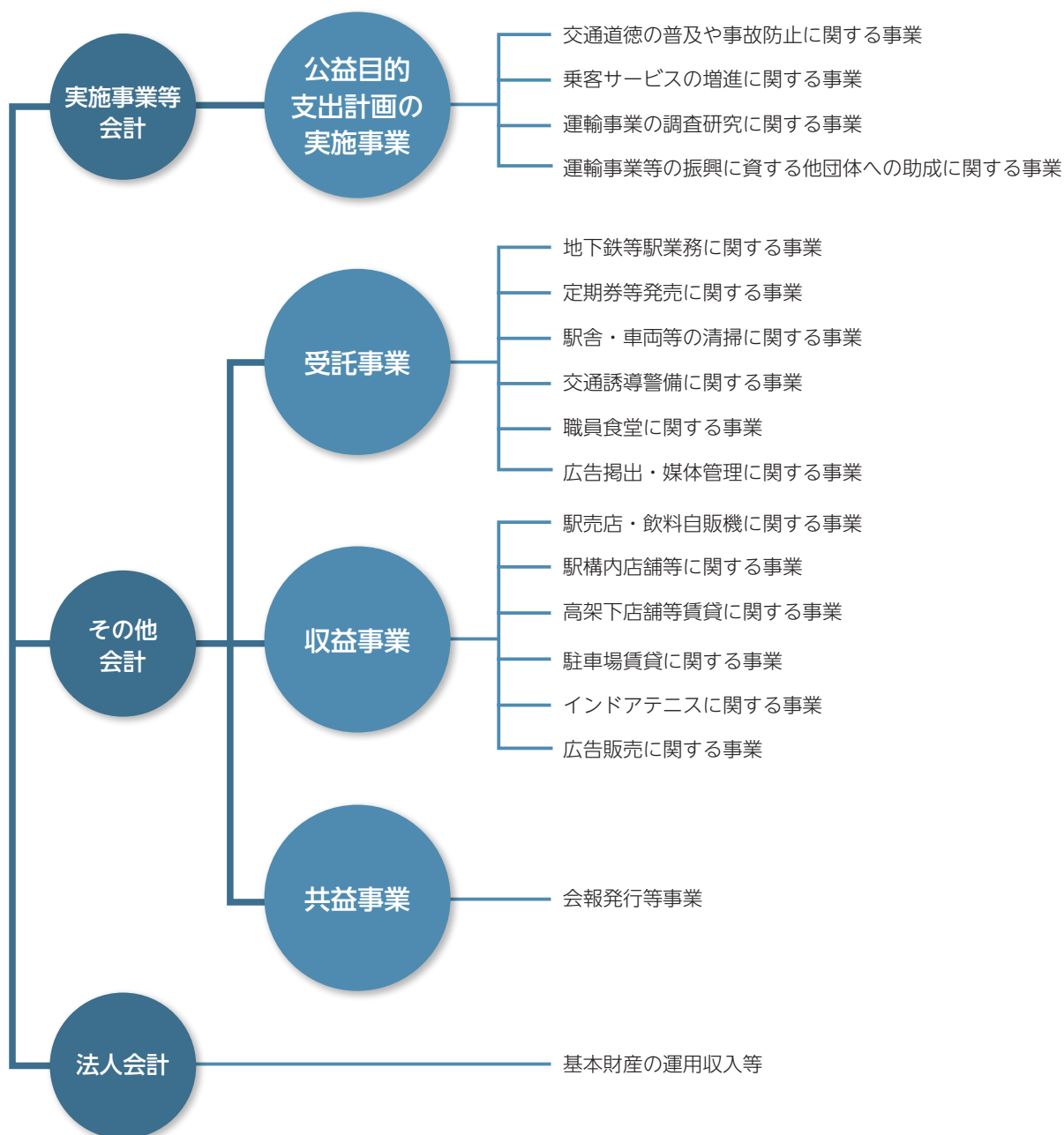
● 事業と会計区分

当会は、社会公共のために行う「公益事業」、交通局の業務の一部を受託し都営交通事業を支える「受託事業」、当会の経営基盤を強化し公益事業を安定的かつ効果的に運営するための「収益事業」を実施してきました。

平成 25 年 4 月の一般財団法人への移行に伴い、これまでの公益事業のうち、福利厚生に関する事業を「共益事業」、それ以外の事業を「公益目的

支出計画の実施事業」として継続し、実施していくこととしました。

また、当会では平成 24 年度決算から平成 20 年公益法人会計基準を採用し、「実施事業等会計」で公益目的支出計画の実施事業を、「その他会計」で受託事業、収益事業、共益事業を、「法人会計」で基本財産の運用収入等を経理しています。



● 公益目的支出計画の実施事業

交通道德の普及や事故防止に関する事業

交通マナーの普及啓発や交通安全意識の向上などを目的として、マナーポスターの作成、小学生向けマナー読本の作成・配布、マタニティーマー

クの作成、都営交通沿線地域の高齢者や児童を対象とする都営バス営業所での交通安全教室の支援などを行っています。



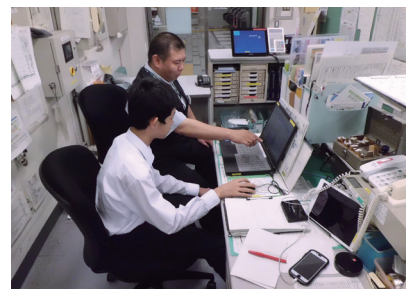
マナーポスター



交通安全教室

乗客サービスの増進に関する事業

お客様サービスの向上や沿線地域への貢献・活性化などを目的として、都営地下鉄バリアフリーガイドの作成、都営バスや東京さくらトラム（都電荒川線）の沿線ガイドブックの作成、都電サポーターズへの支援、中学生の交通局職場体験への支援業務などを行っています。



中学生の職場体験

運輸事業の調査研究に関する事業

交通局と連携して運輸事業に関する調査研究を行っています。

運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業

公益財団法人交通遺児等育成基金、社会福祉法人東京都社会福祉協議会（東京善意銀行）、日本

赤十字社への助成（寄付）を行っています。

● 受託事業

地下鉄等駅業務に関する事業

交通局から都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅業務を受託しています。

業務内容は、窓口業務、お客様案内、ホーム監視、遺失物の取り扱い、収入金管理などです。

平成 15 年 4 月に地下鉄の受託を開始して以来、年々駅数を拡大し、平成 25 年 4 月には日暮里・舎人ライ

ナーの西日暮里駅の受託を開始しました。現在は地下鉄 59 駅、日暮里・舎人ライナー 1 駅を受託しています。

異常時対応訓練、サービス介助士の資格取得など、安全・安心の確保とお客様サービスの向上に取り組んでいます。



窓口業務



ホーム監視

● 受託駅

路線名	受託駅数	受託駅名
都営浅草線	12 / 20	馬込、中延、戸越、高輪台、三田、大門、東銀座、宝町、人形町、東日本橋、蔵前、本所吾妻橋
都営三田線	13 / 27	内幸町、水道橋、春日、白山、千石、西巢鴨、板橋区役所前、板橋本町、志村坂上、志村三丁目、蓮根、西台、新高島平
都営新宿線	11 / 21	新宿三丁目、曙橋、小川町、浜町、森下、菊川、西大島、東大島、船堀、一之江、篠崎
都営大江戸線	23 / 38	東新宿、若松河田、牛込柳町、牛込神楽坂、飯田橋、本郷三丁目、蔵前、両国、森下、月島、勝どき、築地市場、赤羽橋、麻布十番、代々木、西新宿五丁目、中野坂上、東中野、中井、落合南長崎、新江古田、豊島園、練馬春日町
(地下鉄 計)	59 / 106	
日暮里・舎人ライナー	1 / 13	西日暮里
(新交通 計)	1 / 13	

定期券等発売に関する事業

交通局から都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの定期券発売所業務を受託しています。

業務内容は、定期券や一日乗車券の発売、東京都シルバーパスの発行、都営交通オリジナルグッズの販売などです。

昭和 18 年 7 月に東京市電気局から市電・市バスの乗車券の車外発売の受託を開始、昭和 58 年

2 月に都営地下鉄、平成 20 年 3 月に日暮里・舎人ライナーの定期券の発売を開始し、平成 31 年 4 月から「三ノ輪橋おもいで館」の業務を受託しています。現在は都営地下鉄 17 か所、都営バス 12 か所、三ノ輪橋おもいで館 1 か所、日暮里・舎人ライナー 1 か所を受託しています。

接遇や語学の研修を行い、お客様サービスの向上に取り組んでいます。



都営地下鉄定期券発売所



都営バス定期券発売所



三ノ輪橋おもいで館

● 定期券発売所

区 分	箇所数	窓 口
都営地下鉄	17	五反田、日本橋、浅草橋、三田、日比谷、神保町、巢鴨、高島平、市ヶ谷（注 1）、馬喰横山、大島、一之江、本八幡、上野御徒町、門前仲町、新宿、練馬
都営バス	12	東京駅丸の内南口、品川駅港南口、渋谷駅前、新宿駅西口、大塚駅前、王子駅前、西新井駅前、錦糸町駅前、亀戸駅前、船堀駅前、葛西駅前、西葛西駅前
東京さくらトラム （都電荒川線）	1	三ノ輪橋おもいで館
日暮里・舎人ライナー	1	日暮里
（計）	31	

（注 1）市ヶ谷は、2021（令和 3）年 5 月 31 日廃止

駅舎・車両等の清掃に関する事業

● 駅舎清掃

交通局から都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅舎清掃を受託しています。

業務内容は、ホーム、コンコース、階段、トイレ、ホームドア、機器室の清掃、ゴミの収集・分別で、特別清掃として終電後の深夜時間帯に駅構

内の壁面や天井清掃も行っています。

昭和 53 年 12 月の都営新宿線の開業を機に受託を開始、現在は都営地下鉄 101 駅（全 106 駅のうち交通局が管理している全駅）と日暮里・舎人ライナー全 13 駅を受託しています。

区 分	駅数
都営地下鉄	101 駅
日暮里・舎人ライナー	13 駅



駅舎清掃

● 車両清掃

交通局から都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの車両清掃を受託しています。

昭和 31 年 10 月に都営バス、昭和 32 年 4 月に都電、昭和 35 年 12 月に都営地下鉄、平成 20 年 3 月に日暮里・舎人ライナーの受託を開始しました。

また、駅舎清掃とともに、お客様に快適にご利用いただくためインスペクション（品質評価）研修による清掃作業のスキルアップや、KYT（危険予知訓練）による作業中の事故防止等に取り組んでいます。

区 分	車両数及び箇所数
都営地下鉄	1,174 両
都営バス	1,245 両
東京さくらトラム （都電荒川線）	33 両
日暮里・舎人ライナー	100 両
庁舎清掃	2 か所



地下鉄車両清掃

交通誘導警備に関する事業

交通局から都営バスの交通誘導警備業務を受託しています。

業務内容は、バスの誘導、歩行者の安全確認、お客様案内、交通局職員が行うバス運行管理業務の補助などです。

昭和 56 年 12 月に 8 か所で受託を開始、現在バスターミナル等 17 か所で業務を行っています。

警備業法に基づく有資格者の確保・育成、バス車両を使用した実地研修、サービス推進リーダーの配置など、安全・安心の確保とお客様サービス向上に取り組んでいます。

● 受託箇所

17 か所（大井競馬場、渋谷駅東口、高田馬場駅前、江古田二丁目操車所、池袋駅東口、大塚駅前、東大構内、王子駅前、荒川土手操車所、西新井駅前、日暮里駅前、浅草寿町操車所、錦糸町駅南口、東陽操車所、葛西駅前、豊洲市場、豊海水産埠頭操車所）



バス誘導



お客様案内

職員食堂に関する事業

交通局から都営地下鉄の車両基地や都営バス営業所などの食堂運営を受託しています。

業務内容は、食事の提供のほか、賄い人の募集、売上金の回収、食中毒防止や防火管理の徹底などにも取り組んでいます。

この事業は、平成 21 年 4 月に東京交通サービス（株）から当会に移管されました。

現在、交通局の食堂を 21 所、（株）はとバスが管理している都営バス営業所の食堂を 2 所受託しています。

● 受託箇所

23 所（交通局：21 所、はとバス：2 所）



職員食堂

広告掲出・媒体管理に関する事業

● 広告掲出業務

交通局から広告掲出業務を受託しています。

業務内容は、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの各種車内広告や車体広告、都営地下鉄、日暮里・舎人ライナー全駅の駅貼り広告等の取り付け・取

り外し作業などです。

研修の実施、掲出後に行う巡回点検（ダブルチェック）により、作業中の事故や掲出不備の防止に取り組んでいます。



広告の仕分け作業



まど上ポスター掲出作業

● 広告媒体管理業務

交通局から都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）及び日暮里・舎人ライナーの広告媒体の管理業務を受託しています。

業務内容は、交通局の広告媒体への出稿申込受付、広告の掲出・撤去に関する指示・確認、広告料金の収納・集計、その他広告に関する補助業務

などです。

媒体管理は交通局と広告代理店とをつなぐ重要な業務であり、広告掲出業務と連携することで、広告依頼主からの要望に柔軟な対応が可能となっています。



媒体管理業務

● 収益事業

駅売店・飲料自販機に関する事業

● 駅売店（メルシー）

都営地下鉄の駅構内に売店を設置し、新聞・雑誌・タバコ・菓子・飲料・雑貨などの販売を行っています。

昭和35年12月の都営浅草線の開業とともに業務を開始し、平成4年4月に売店の愛称を「メルシー」としました。販売員研修や表彰などを実施し、接客レベルの向上に努めています。



駅売店（メルシー）

● 店舗数

10 店舗

● オートメルシー

廃止した駅売店（メルシー）跡地を利用して飲料自販機等を複数台設置しています。

現在28か所で稼働しています。大手のコンビニエンスチェーンと提携したオートメルシーもあります。



オートメルシー

● 箇所数

28 か所

● 飲料自販機

都営地下鉄、日暮里・舎人ライナーの駅構内、都営バス営業所の敷地内などに飲料等の自動販売機を設置しています。

車椅子をご利用のお客様でも利用できるユニバーサルデザインに対応した機種や省エネ型の環境対応機種の導入を進めています。



ユニバーサルデザイン・
省エネ型の飲料自販機

● 台数

946 台

駅構内店舗等に関する事業

● 専門店舗

都営地下鉄の駅構内にコンビニエンスストア、飲食店、物販店、くつ修理店などを専門業者に委託して出店しています。

地元自治体や交通局と連携し、障がい者の就労支援などを目的としたパン店や喫茶店なども設置しています。

区 分	店舗数
コンビニエンスストア	8 店舗
飲食店	12 店舗
物販店	9 店舗
くつ修理店	5 店舗
その他の専門店	3 店舗



物販店

● 催事（期間限定ショップ）

都営地下鉄の駅構内において、週替わり・月替わりの期間限定で菓子や雑貨などを販売する催事事業を行っています。

平成 28 年 12 月には、都営浅草線五反田駅構内に月替わりの催事ショップ「Toei Sweets Shop」をオープンしました。

区 分	箇所数
ウィークリー催事	8 か所
マンスリー催事	1 か所



Toei Sweets Shop

● コインロッカー、ATM など

都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーの駅構内に、コインロッカー、宅配便ロッカー、ATM、自動証明写真機、公衆電話などを設置しています。

最近はコインロッカーの多言語化対応や海外で発行されたカードに対応した ATM の導入拡大に取り組んでいます。

区 分	箇所数等
コインロッカー	133 か所
宅配便ロッカー	20 か所
ATM	127 台
自動証明写真機	88 台
公衆電話	136 台



コインロッカー兼宅配受取ロッカー

高架下店舗等賃貸に関する事業

● 高架下店舗等

都営浅草線、三田線及び新宿線の高架下の土地を活用し、飲食・物販等の店舗や倉庫、事務所等として貸し付けています。このほか、三田線白山駅に貸しビルを所有しています。

平成25年からは、交通局が行う高架橋の耐震補強工事に協力し、工事に支障する施設物等の撤去、工事完了後の再築、これに伴うテナントの移転や誘致等の取り組みを行っています。



メトロード西台



メトロード東大島

路線名	区 間	契約件数	主な利用形態
都営浅草線	西馬込	9	倉庫など
都営三田線（注）	志村三丁目～西高島平	146	店舗、事務所、倉庫など
都営新宿線	東大島～船堀	28	店舗、事務所、保育園など
	（計）	183	

（注）白山駅ビル（1件）を含む

● 駅ビル

都営新宿線の本八幡駅開業に合わせて交通局が建設した「本八幡地下鉄会館」の管理を受託し、テナントの貸付業務を行っています。

また、都営大江戸線の西新宿五丁目駅の駅ビルの貸付を受託しています。

名 称	規 模	契約件数	主な利用形態
本八幡地下鉄会館	638㎡	6	飲食店など
西新宿五丁目駅ビル	539㎡	1	飲食店

駐車場賃貸に関する事業

都営浅草線、三田線及び新宿線の高架下の土地を活用し、駐車場の貸付を行っています。

このほか、交通局の地下鉄建設に伴う代替地や施設跡地など高架下以外の事業用地を駐車場として貸し付けています。



月極駐車場

● 駐車場

区 分		箇所数	収容台数
高架下	時間貸し	1	20
	月極め	9	313
一般	時間貸し	7	76
	月極め	35	565
(計)		52	974

インドアテニスに関する事業

板橋区新河岸の交通局用地を活用してインドアテニスコートを運営しています。

昭和 55 年に屋外テニスコートとして営業を開始、昭和 62 年に国内最大級の屋内コート 5 面を有するテニスクラブとして新たに開業、平成 30 年にコートの全面張替、クラブハウス内の改修、外壁塗装など大規模改修工事を実施しました。

貸しコート及びテニススクールの営業等は専門業者に委託しています。



高島平インドアテニスコート

広告販売に関する事業

交通局の指定広告代理店として、都営交通の広告販売を行っています。

従来の車内の中吊りポスター、駅の電飾ボード、パンフレットラック、都営バスや東京さくらトラム（都電荒川線）のラッピング広告などのほか、最近では地下鉄車内の「チカッ都ビジョン」

や駅構内のデジタルサイネージが人気となっています。

また、駅売店とのタイアップ広告やノベルティグッズ等の製作請負など企画提案型の業務にも力を入れています。



ステーションビジョン



チカッ都ビジョン



デジタルサイネージラック

● 経営状況

● 令和2年度決算概要 ※ 2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日

● 一般正味財産の部

(単位：千円)

実施事業等会計	収入	0	
	支出	227,910	
	差引	△ 227,910	
その他会計	収入	10,408,882	
	支出	9,878,336	
	差引	530,546	
受託事業	収入	7,239,528	
	支出	6,898,766	
	差引	340,762	
収益事業	収入	3,169,127	
	支出	2,976,932	
	差引	192,195	
共益事業	収入	227	
	支出	2,638	会報発行等事業
	差引	△ 2,411	
法人会計	収入	88,937	基本財産等運用収入等
	支出	18,136	運用収入に係る所得税等
	差引	70,801	
当期経常増減額		373,437	
経常外収益		48,661	日比谷駅休憩コーナー内装・什器工事の無償譲渡受け入れ(受贈益)等
経常外費用		64,740	耐震補強工事に伴う固定資産除却損等
当期経常外増減額		△ 16,079	
税引前当期一般正味財産増減額		357,358	
法人税・住民税・事業税		207,277	
法人税等調整額		△ 37,943	
当期一般正味財産増減額		188,024	
一般正味財産期末残高		11,913,210	

● 指定正味財産の部

受取補助金等	356,207	耐震補強工事に伴う再建築施設に係る補償金
一般正味財産への振替額	△ 31,436	減価償却相当額振替
当期指定正味財産増減額		324,771
指定正味財産期末残高		1,482,859

● 合計

正味財産期末残高	13,396,069	
----------	------------	--

● 貸借対照表 ※ 2021(令和3)年3月31日現在

● 資産の部

(単位：千円)

流動資産	5,036,856
固定資産	11,635,466
基本財産	3,006,148
その他	8,629,318
有形固定資産	3,416,042
無形固定資産	51,355
投資	4,762,129
繰延税金資産	399,792
資産合計	16,672,322

● 負債の部

(単位：千円)

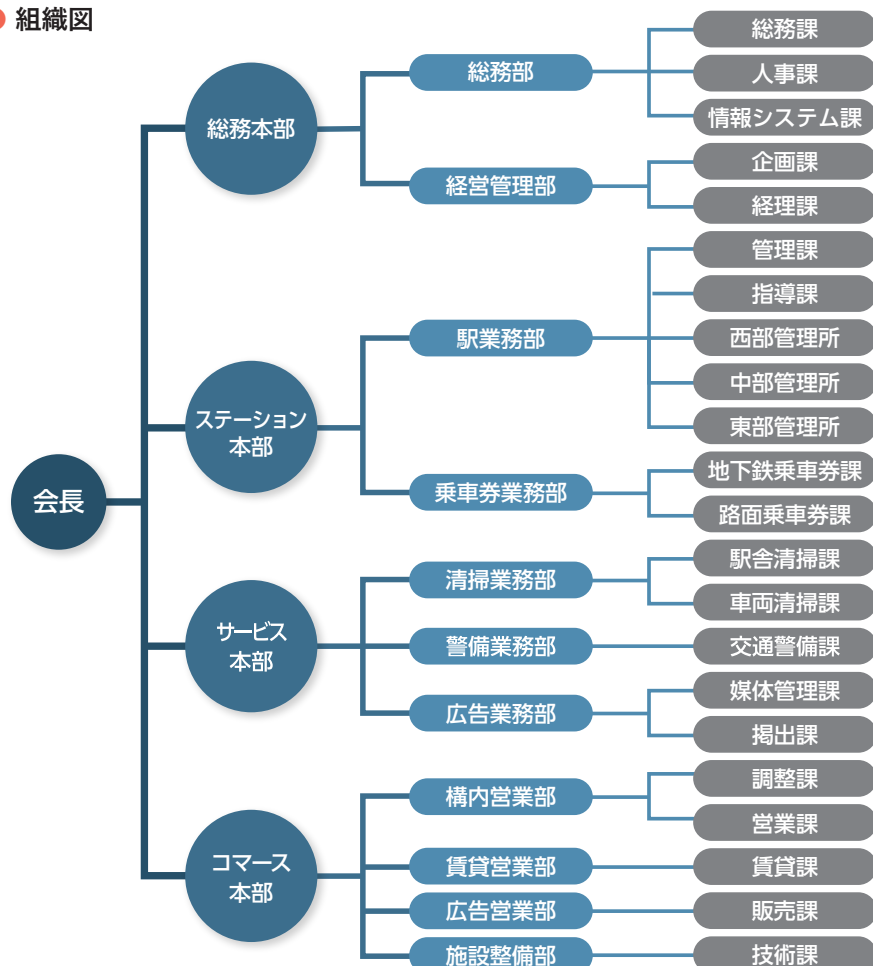
流動負債	1,958,592
固定負債	1,317,661
(負債合計)	3,276,253

● 正味財産の部

一般正味財産	11,913,210
指定正味財産	1,482,859
(正味財産合計)	13,396,069
負債及び正味財産合計	16,672,322

組織

● 組織図



● 役員 ※ 2021 (令和 3) 年 6 月 25 日現在

太田 博	代表理事 (会長)
木元 隆平	専務理事
池上 拓史	常務理事
蒲 俊郎	(非常勤) 理事 [弁護士]
平澤 哲哉	(非常勤) 理事 [東京商工会議所地域振興部長]
村岡 教昭	(非常勤) 理事 [公益財団法人東京都人権啓発センター専務理事]
渡邊 範久	監事
山田 洋一	(非常勤) 監事 [公認会計士]

● 職員数 ※ 2021 (令和 3) 年 4 月 1 日現在

(単位:人)

部署名	常勤職員	パート・非常勤等	計
総務本部	25	1	26
ステーション本部	836	28	864
サービス本部	74	692	766
コマース本部	48	28	76
(計)	983	749	1,732

● 協力会のあゆみ

和歴	年月日	出来事
昭 18	1943 年 5 月 5 日	財団法人東京市電気局協力会設立起案、市長決議
昭 18	1943 年 5 月 29 日	内務・鉄道両大臣より設立許可を取得、寄付行為設立
昭 18	1943 年 6 月 11 日	市電・市バスの広告取扱業務を受託（昭和 21 年 6 月 30 日：終了（東京都交通局広告事業組合へ移管））
昭 18	1943 年 6 月 16 日	市電・市バス乗車券の車外発売を受託（昭和 21 年 10 月 31 日：終了）
昭 18	1943 年 6 月 16 日	本部事務所を開設（東京市麹町区有楽町 2-13（東京市電気局内））
昭 18	1943 年 7 月 1 日	事業開始。都制施行を受けて「財団法人東京都交通局協力会」と改称
昭 18	1943 年 9 月 22 日	本部事務所を移転（東京都千代田区銀座西 4-3（交通局分庁舎内））
昭 18	1943 年 10 月 21 日	警視総監から古物商の営業許可を取得
昭 18	1943 年 12 月 1 日	車内広告取扱業務を開始
昭 19	1944 年 8 月 10 日	都電車両の疎開業務を受託
昭 21	1946 年 3 月 27 日	協力会会員制を施行
昭 23	1948 年 3 月 13 日	東京地方専売局より煙草小売人の指定を受ける
昭 24	1949 年 11 月 7 日	本部事務所を移転（東京都千代田区有楽町 2-13（交通局内））
昭 25	1950 年 11 月 15 日	日本勧業銀行（現・みずほ銀行）と宝くじの売捌契約を締結（令和 2 年 12 月 25 日：終了）
昭 25	1950 年 12 月 13 日	営団地下鉄（現・東京メトロ）回数券の発売を受託（昭和 36 年 10 月 31 日：終了）
昭 26	1951 年 12 月 21 日	都バス通学定期券の発売を受託
昭 28	1953 年 12 月 2 日	都知事より旅行斡旋業の登録を取得（平成 15 年 3 月 31 日：旅行業終了）
昭 31	1956 年 10 月 1 日	都バスの車体清掃を受託
昭 32	1957 年 4 月 1 日	都電の車両清掃を受託
昭 33	1958 年 7 月 5 日	錦糸町駅前に江東会館（デパート）を開業（昭和 56 年 1 月 16 日：廃館）
昭 35	1960 年 10 月 10 日	東京都交通局広告協同組合に加入（広告取扱を再開）
昭 35	1960 年 12 月 1 日	都営 1 号線（現・浅草線）「押上」～「浅草橋」開業に伴い車両清掃を受託
昭 35	1960 年 12 月 4 日	駅売店を開設
昭 36	1961 年 4 月 1 日	駅の額面広告枠の保守業務を受託（平成 20 年 6 月 30 日：終了（TKS:東京交通サービス株式会社へ移管））
昭 37	1962 年 12 月 20 日	バス営業所の夜警業務を受託（昭和 57 年 9 月 30 日：終了）
昭 38	1963 年 1 月 22 日	交通局文書メール便業務を受託（昭和 63 年 3 月 31 日：終了）
昭 38	1963 年 3 月 19 日	本部事務所を移転（東京都千代田区丸の内 3-5（交通局内））
昭 38	1963 年 4 月 11 日	バス車内・車外広告架替作業を受託
昭 39	1964 年 12 月 1 日	交通局庁舎（旧・有楽町本庁舎）の清掃を受託
昭 40	1965 年 1 月 16 日	都バス通勤定期券の発売業務を受託
昭 40	1965 年 7 月 8 日	本部事務所を移転（東京都千代田区有楽町 2-13（交通会館））
昭 43	1968 年 6 月 16 日	大門庁舎のボイラー運転及び保守業務を受託
昭 43	1968 年 10 月 1 日	新橋駅・浅草橋駅にコインロッカーを設置
昭 43	1968 年 12 月 27 日	都営 6 号線（現・三田線）「巢鴨」～「志村」（現・高島平）開業に伴い車両清掃を受託
昭 45	1970 年 8 月 31 日	都営 6 号線「志村坂上」～「西台」で高架下賃貸事業を開始
昭 48	1973 年 9 月 10 日	志村三丁目駅の高架下に商店街（現・メトロ線志村三丁目）を開設
昭 48	1973 年 12 月 27 日	本部事務所を移転（東京都港区芝浦 3-1-35（交通局互助会館））
昭 53	1978 年 5 月 1 日	遺失物搬入業務を受託（昭和 63 年 3 月 31 日：終了）

和歴	年月日	出来事
昭 53	1978 年 9 月 1 日	バス営業所の用務業務を受託（平成 17 年 3 月 31 日：終了）
昭 53	1978 年 10 月 1 日	都営浅草線・三田線の駅手洗所清掃業務を受託
昭 53	1978 年 12 月 21 日	都営新宿線「岩本町」～「東大島」開業に伴い駅舎・車両清掃を受託
昭 54	1979 年 2 月 1 日	当会 100%出資により株式会社プラムを設立（コンビニ店、パン店、駐車場などを経営）
昭 54	1979 年 9 月 12 日	西台駅の高架下に商店街（現・メトロード西台）を開設
昭 54	1979 年 10 月 1 日	白山駅にミニ書店を出店
昭 55	1980 年 6 月 28 日	高島平テニスクラブ開業（昭和 62 年 7 月 20 日：インドアテニスとして新装開業）
昭 56	1981 年 12 月 1 日	バス誘導業務を受託（8 か所）
昭 58	1983 年 2 月 21 日	地下鉄定期券発売所業務を受託（3 か所）
昭 59	1984 年 4 月 1 日	都電荒川線の軌道点検を受託（平成 18 年 3 月 31 日：終了（TKS へ移管））
昭 61	1986 年 5 月 10 日	船堀駅の高架下に「船堀メトロ商店街」を開設
昭 61	1986 年 8 月 25 日	東大島駅に ATM を設置
昭 63	1988 年 12 月 19 日	駅構内にタバコ自動販売機の設置を開始
平 1	1989 年 1 月 20 日	駅構内に飲料の自動販売機の設置を開始
平 1	1989 年 3 月 1 日	東大島駅の高架下に集合店舗「東大島メトロード 18」を開設
平 3	1991 年 7 月 26 日	蓮根駅に証明用写真機を設置
平 3	1991 年 12 月 10 日	都営 12 号線（現・大江戸線）「練馬」～「光が丘」開業に伴い、駅舎・車両・庁舎清掃を受託
平 4	1992 年 4 月 1 日	駅売店の愛称を「メルシー」とし、ロゴマークを制定
平 8	1996 年 4 月 1 日	株式会社プラムから事業を引き継ぎ（コンビニ店、パン店、そば店、高島平インドアテニスコートなど）
平 9	1997 年 10 月 1 日	本部事務所を移転（東京都江東区大島 5-10-10（セントラルプラザ大島））
平 12	2000 年 10 月 1 日	東京都シルバーバス発行業務を受託
平 13	2001 年 4 月 1 日	東京都交通局から指定広告代理店に指定される
平 15	2003 年 4 月 1 日	地下鉄の駅業務を受託（6 駅）
平 15	2003 年 4 月 1 日	都電荒川線トラバサー運転業務を受託（平成 20 年 3 月 31 日：終了（TKS へ移管））
平 16	2004 年 4 月 1 日	広告媒体管理業務を受託
平 17	2005 年 4 月 1 日	地下鉄の駅案内業務（コンシェルジュ）を受託（平成 21 年 3 月 31 日：終了）
平 18	2006 年 6 月 1 日	警視庁から駐車監視員業務を受託（入札）（平成 19 年 3 月 31 日：終了）
平 20	2008 年 3 月 30 日	日暮里・舎人ライナーの開業に伴い駅舎・車両・庁舎清掃を受託
平 20	2008 年 3 月 31 日	庁舎設備管理業務を TKS へ移管
平 20	2008 年 6 月 30 日	駅舎照明設備点検業務を TKS へ移管
平 20	2008 年 6 月 30 日	株式会社ゆりかもめから駅業務を受託（3 駅）（平成 23 年 3 月 31 日：終了）
平 20	2008 年 12 月 1 日	公益法人制度改革関連三法施行により特例民法法人となる
平 21	2009 年 4 月 1 日	POS システム導入により駅売店での PASMO 利用開始
平 21	2009 年 4 月 1 日	食堂業務を受託（TKS から移管）
平 22	2010 年 3 月 29 日	理事会において一般財団法人への移行を決定（平成 25 年 3 月 25 日：都知事より認可）
平 24	2012 年 4 月 1 日	組織改正（5 室から 5 本部に名称変更、部・課・係を設置）
平 25	2013 年 4 月 1 日	一般財団法人へ移行登記、名称を「一般財団法人東京都営交通協力会」へ変更
平 28	2016 年 12 月 15 日	五反田駅にマンスリー催事「Toei Sweets Shop」を開設
平 31	2019 年 4 月 1 日	東京都の事業協力団体に指定される
平 31	2019 年 4 月 1 日	三ノ輪橋おもいで館の業務を受託
令 2	2020 年 4 月 1 日	組織改正（5 本部から 4 本部に再編、係を廃止）



事業のあらまし 2021

発行 2021(令和3)年11月1日

編集 一般財団法人 東京都営交通協力会



www.tkk.or.jp